

皇居正門石橋飾電燈と内閣文庫（博物館明治村）

昨年10月、博物館明治村に新たに3件の移築建造物が追加された。そのうちの二つが皇居に関係があった。明治20年それまでの木橋から石橋に架け替えられた正門前の橋に飾られた青銅製の飾電燈と、明治44年大手門内に創建された内閣文庫である。

洋風の姿ながら、細部の形に何となく日本趣味の勝った飾電燈。一方、内閣文庫は、正面に4本の太い円柱を並べたルネッサンス様式の建物で、明治45年間をかけて日本が学んだ西洋建築の姿を素直に実現している。重厚なその雰囲気に、ギリシャ・ローマからの歴史の重みを感じる。

（博物館明治村 西尾雅敏）

目 次

- 平成3年度愛知県博物館協会総会報告……………2
- 平成3年度東海地区博物館連絡協議会総会について……………4
- 新規加盟館紹介……………5

平成3年度

愛知県博物館協会総会報告

平成3年度愛知県博物館協会総会が、5月22日(木)からまち会館(名古屋市東区)で53館80名が参加して開催されました。以下、概略を報告致します。

1. 会長挨拶……亀井誠治氏(愛知県陶磁資料館館長)
2. 来賓挨拶……原田義一氏(愛知県文化振興局長)
島田 利氏(愛知県教育委員会文化財課長)

3. 表彰……功労賞

- 前一宮市博物館館長 岩野見司氏
博物館明治村主任 小川重幸氏
日本モンキーセンター係長 浅井義信氏
日本モンキーセンター係長 伊藤光太郎氏



4. 新規加盟館紹介

- 安城市歴史博物館
師勝町歴史民俗資料館
弥富町歴史民俗資料館
春日井市道風記念館

5. 議事(座長 愛知県陶磁資料館館長亀井誠治氏)

(1)平成2年度事業報告及び決算報告について

(A)研修会の実施

- a : 博物館等職員研修会(平成2年9月6~7日) サンパーク犬山
b : 部門別研修会
(i)歴史民俗部門(平成2年11月20~22日)
名古屋市博物館
(ii)美術部門(平成3年3月1日)
昭和美術館
(iii)自然科学部門(平成3年2月7日)
日本モンキーセンター

- (B)東海地区博物館連絡協議会平成2年度総会参加
平成2年6月12~13日 神奈川県横浜市

(C)第15回東海三県博物館協会交流研修会参加

平成2年10月4~5日、愛知県美浜町

(D)表彰等の実施

功労賞5名、感謝状1名(氏名略)

(E)印刷物の配布

- a : 「おでかけガイドー愛知の博物館」の発行
b : 「東西南北」の発行。No.180~183
c : 協会報「愛知の博物館」の発行。No.50~52
d : ガイドマップ「あいちの博物館みてあるき」の配布

(F)会議

- a : 総会1回、b : 理事会1回、c : 実行委員会12回

(G)平成2年度新規加盟館の報告、6館(館名略)

(H)平成2年度収支報告(監査報告 昭和美術館)

(2)規約の改正について

昨年度の総会で審議、承認された会費改定について、規約第6条を改正する。(会費現行1口8,000円を10,000円に)

以上、事務局から説明の後、審議が行われ、いずれも承認されました。

(3)平成3年度事業計画及び予算について

(A)県内研修会

愛知県教育委員会と共に博物館関係施設に勤務する職員を対象として行う。

9月5~6日、岡崎市

(B)部門別研修会

- a : 美術部門
b : 歴史民俗部門
c : 自然科学部門

(C)東海地区博物館連絡協議会平成3年度総会

6月13~14日、岐阜県岐阜市

(D)第16回東海三県博物館協会交流研修会

10月17~18日、岐阜県恵那市

(E)表彰

前記、3. のとおり

(F)印刷物の発行

- a : 協会報「愛知の博物館」3回発行
b : 「東西南北」6回発行
c : 「おでかけガイド」2回発行
d : ガイドブック「愛知の博物館」
e : ガイドマップ「あいちの博物館みてあるき」
f : 加盟館(園)職員録

(G)会議

- a : 総会1回、b : 理事会1回、c : 実行委員会12回、d : 30周年記念事業検討委員会2回

(H)平成3年度予算(案)(略)



以上、事務局から説明の後、審議され、印刷物に関して今後内容の充実を図って欲しい等の要望が出されました。承認されました。

(4) 愛知県博物館協会発足30周年記念事業検討委員会の設置について

設置の主旨・構成・スケジュール等、事務局から説明の後、質疑応答に入り、構成や内容等に対して様々な意見が出ましたが、承認されました。（検討委員会・検討チームの構成は別表参照）議事終了後、栃木県立博物館指導主事清水昭二氏による「栃木県立博物館における普及教育活動について一学校教育とのかかわりあいを中心にして」をテーマとしたご講演をいただきました。

清水氏は教員を10年ほど勤められ、その後、栃木県立博物館普及課に籍を置かれ、とかく博物館側からの一方的な押し付けになり勝ちな普及活動において、教員としてのキャリアを充分に生かし、常に学校教育との連携を取りつつ、積極的な普及活動を展開されています。以下、講演の要旨を簡単にまとめてみました。

1. 栃木県立博物館の概要

県のイメージアップの一環として昭和57年に開館収蔵品に国宝・重文クラスのものではなく、観覧者の多くは、一般県民であり、入場者は年平均20万人程度である。

2. 教育普及活動について

実際に多彩な行事を企画され、観察会・講演会・映画会・学校移動博物館・講座など、その種類は10数種類に及ぶ。このような多彩な行事は、新聞や市町村の広報誌、企業のPR誌や社内報を利用して、一般市民へ呼びかけている。

3. 学校教育との関わり・利用の促進

各展示コーナーには接客の前線にいるコンパニオンが作成した展示解説シート（小学生対象）を置き、展示を見学しながら、モノに対する興味を抱かせる工夫をしている。また、引率の立場にある教員に対しては、学習指導書を作成し、学習進度と博物館資

料を対照させるなど、教員への配慮も肌理細かくなされている。

4. まとめ

現在の一般的な博物館活動の中では、普及活動は学芸活動と同等にはみられていない。学芸活動の片手間に普及活動を行っているところが多いのではないか。博物館の存在をアピールし、そして展示品をアピールするためには、外部に対しての広報活動が必要であり、来館者に対しては、コンパニオンによる解説や、解説シートが必要である。こういったことを進めるためには、学芸・総務・普及の各セクションがそれぞれの活動をするのではなく、一体とならなければならない。

以上、栃木県立博物館での様々な実践を大変わかりやすく、そして熱心にお話いただきました。当愛知県においても、愛知県博物館協会に加盟している館はすでに100館を越えた今、一般の人々に積極的に館そのものをアピールしていかなければ、折角良い資料を収蔵していても人目に触れることなく死蔵に近い状態になってしまいます。一般の人々に博物館に足を運んでもらう、それが社会教育機関としての博物館の第一歩ではないかと改めて思いました。

（文責 実行委員 博物館明治村 中野裕子）

愛博協発足30周年記念事業検討委員会名簿

役職名	委員氏名
委員長	会長 亀井誠治（愛知県陶磁資料館館長）
副委員長	副会長 岡地幸雄（熱田神宮宝物館館長）
委員	理事 岡田 博（名古屋市科学館館長）
委員	理事 寺沢安正（でんきの科学館館長）
委員	理事 清水 武（名古屋市博物館館長）
委員	監事 鯉次雄（愛知県文化館美術館館長）

検討チーム

	メンバーフィル	氏名
チーフ	実行委員	三輪 克（名古屋市科学館）
メンバー	実行委員	浅田員由（愛知県陶磁資料館）
メンバー	実行委員	武田定雄（熱田神宮宝物館）
メンバー	実行委員	土井孝夫（でんきの科学館）
メンバー	実行委員	種田祐司（名古屋市博物館）
メンバー	実行委員	木本文平（愛知県文化会館美術館）
メンバー	実行委員	水野礼子（日本モンキーセンター）
メンバー	事務局	原 誠（愛知県陶磁資料館）

平成 3 年度 東海地区博物館連絡協議会 総会について

東海地区博物館連絡協議会は昭和40年に結成され、本年で27年になります。平成3年度の総会は観光都市岐阜市にて6月13日(木)から14日(金)に開催されましたのでその概要を報告します。



第1日の総会は岐阜市日の出町の岐山会館で行われました。まず青木副会長の挨拶の後、日本博物館協会の毛利専務理事、岐阜県教育委員会の篠田教育長、岐阜市の高木助役から祝辞を受けました。

次いで表彰に移り、久能山東照宮博物館の小林明氏、熱田神宮宝物館の野村辰美氏、名古屋市科学館の古瀬與一氏、山梨県立美術館の竹田稔氏、株式会社京急油壺マリンパークの堤俊夫氏が表彰されました。この後議事に入り(1)平成2年度事業並びに決算・監査報告(2)平成3年度理事及び監事の選任(3)平成3年度事業計画並びに予算(案)(4)平成4年度開催県について事務局から説明があり、審議の結果全て承認され平成4年度の開催県は静岡県となりました。総会終了後、日博協毛利専務理事から中央の情勢についてのお話があり、本年は博物館法40周年にあたり日博協の大会は12月中旬に東京において開催されることでした。その後記念講演「医薬に関する年中行事」を内藤記念くすり博物館顧問の青木允夫博士から興味深く拝聴しました。引続いての懇親会ではカラオケ入りで大いに盛り上って、まさに各博物館の連絡協議の場となり貴



重な情報交換ができました。

第2日目は施設見学ということで初めに川島町ふるさと史料館を訪ねました。ここ岐阜県羽島郡川島町は木曾川の中洲にある小さな島の町です。土質が砂壌土のため田ではなく專業農家は成り立たず、地理的な関係で愛知県の一宮・尾西方面の繊維工業地帯との交流が深く現在では撚糸・織物などが地場産業の基盤をなしてきて宅地化が進んでいるそうです。川島町ふるさと史料館は「複合施設・川島町民会館」のうちの4階部分にあり博物館類似施設歴史民俗資料館として羽島郡四町教育委員会が設置運営しているものです。ここでは、川島町の民俗、歴史資料の収集、保存、調査、研究の熱意が展示物から伝わってくる思いでした。ふるさと史料館以外では1、2、5階が「生きがいセンター」となっており、3階の「ほんの家(図書館)」とともに



活発に活動している様子が肌で感じられました。次に見学した内藤記念くすり博物館も川島町内にあり、前夜の懇親会でお世話になった当館学芸員の方々から笑顔で迎えて頂き大変感激しました。オリエンテーションの後、館内と薬用植物園を丁寧に案内して頂きました。くすり博物館は唯薬のみの展示ではなく、まだ薬のない昔の人々が病気は悪霊や悪魔の仕業と考え病気の苦しみ、死の恐怖から逃れるためのさまざまな神事や厄除けのお守りなどの人間の祈りの歴史を胸が痛くなる思いで見学しました。中国医学の伝来・蘭方医学の伝来・製薬の道具、くすり売り、などいつの時代どこの国でも薬は人間の健康、生命への願望をこめた英知の結晶であり、この博物館にはそんな歴史を物語る世界各国のそして昔から現代までの薬に関する様々な資料が40,000点も集められ展示されています。

また27,000冊の医学・薬学書を収蔵する図書室は貸出し・コピーのサービスも行っているそうです。エーザイでは工場でなく工園と呼んでいる140,000坪(466,000m²)の敷地内には近代的な製剤工場・研究所とともに薬用植物園があり600種以上の植物を栽培しています。料理の香辛料や染料に用いられる植物もあり、また「ふれあいコーナー」では薬草に触れたり匂いをかいだり味をたしかめたりすることもでき植物への親しみが一層深りました。また広大な植物園は手入れも素晴しく雑草一本生えていないには感心しました。野鳥や野うさぎ等いろいろな野性動物が生息している自然林をそのまま残した日本庭園では、工場排水を浄化した後一時貯水した池に緋鯉などの他木曾川からのぼってきたウグイ・フナや大きなナマズの姿が見られました。季節になると沢山のカモが渡ってきてこの池でひと冬を過すそうです。

最後の見学地は羽島市の羽島円空資料館で鉛彫りで有名な円空上人生誕の地。ここには本尊の十一面観音像をはじめ全部で17軀あります。どれも円空の作品らしく力強く迫力のあるものです。円空が産湯に使い、煮物・飲料水等に使うと水商売繁盛、身体強健になるという井戸水を頂きここで散会しました。

今回の総会、懇親会、見学会に気を配って頂いた岐阜県博物館協会の皆さんに紙面から謝意を表したいと思います。

なお別記として本年度の東海地区博物館連絡協議会の役員名簿を掲げさせて頂きます。

(文責 実行委員 でんきの科学館 三上義弘)

平成3年度東海地区博物館連絡協議会役員 (任期2年:平成2年・3年度)

役職名	協会名	館名	職氏名
理事	静岡県博物館協会	久能山東照宮博物館 東海大学海洋科学博物館 浜松市博物館	館長 松浦 國男 館長 井上 元男 館長 向坂 錠二
	愛知県博物館協会	徳川美術館 名古屋市科学館 愛知県陶磁資料館	館長 澤川 義宣 館長 岡田 博 館長 亀井 誠治
	山梨県博物館協会	山梨県立美術館 信玄公宝物館 富士博物館	館長 滝田 隆 館長 野沢公次郎 館長 井出 常済
監事	神奈川県博物館協会	神奈川県立博物館 横浜市立野毛山動物園 川崎市立日本民家園	館長 岩野 好秀 園長 池田 隆一 園長 小野 吾
	岐阜県博物館協会	岐阜県博物館 内藤記念くすり博物館 飛騨民俗村	館長 藤田 幸男 顧問 青木 允夫 館長 吉川 昭夫
	静岡県博物館協会	駿府博物館 郡上八幡民芸美術館	館長 今井 清隆 館長 松本 五三

新規加盟館紹介

平成2・3年に当協会へ加盟されました館の概要を、ここに紹介します。

春日井市道風記念館

KASUGAI CITY TOFU
MEMORIAL MUSEUM

所在地 〒486 春日井市松河戸町946-2

電話 (0586) 82-6110

交通 J R中央線勝川駅または春日井駅よりタクシーカー10分

名鉄バスセンターより春日井市民病院前行(春日井線)「松河戸」下車徒歩2分

駐車場 無料 40台

沿革 春日井市は書聖小野道風の生誕伝説地(愛知県指定史跡)であることから、その偉業をたたえ、末永く後世に伝えるとともに、書道文化の一層の向上発展に寄与するため、昭和56年11月に開館しました。

施設 敷地 1763.26m²

鉄筋コンクリート造2階建(一部鉄骨鉄筋コンクリート造)

延面積 870.53m²

1階 展示室、収蔵庫、事務室

2階 展示室兼会議室、和室、機械室その他

開館 9:00~16:30

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

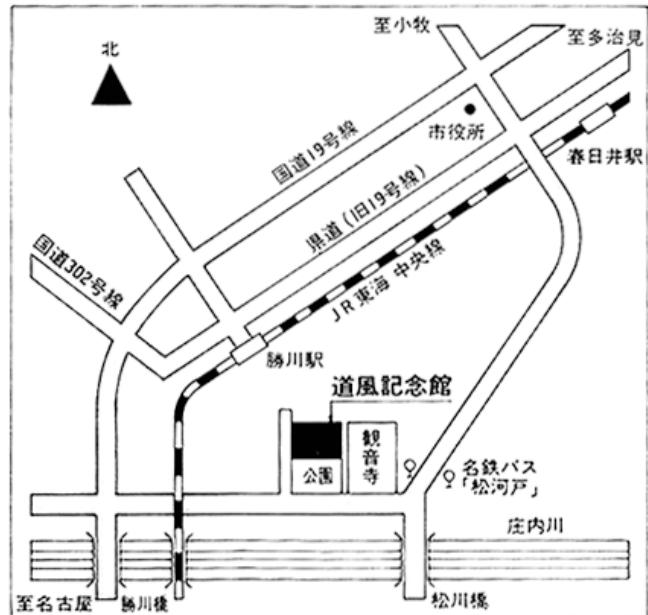
入館料 大人50円、小中学生30円

団体(20人以上)の場合は大人40円、小中学生20円



特 色 道風を中心とする平安古筆の複製品（常設）と、春（近世・近代の書）・秋（古筆）の特別展を中心に、年数回の企画展と道風文庫収蔵品展を開催しています。

伝道風筆麗花集断簡八幡切（愛知県指定文化財）、伝道風筆法華經断簡（春日井市指定文化財）などの古筆と近・現代の書作家の作品約900点（貫名菘翁・市河米庵・日下部鳴鶴・比田井天来・上田桑鳩・鈴木翠軒・豊道春海・手島右卿・桑原翠邦・金子鷗亭）のほか、三筆（空海・嵯峨天皇・橘逸勢）・三跡（小野道風・藤原行成・藤原佐理）などの平安時代を中心とする古筆の複製品約100点を展示しています。展示のほかに、書に関する講座・講演会の開催、道風の書臨書作品の募集などの事業を行い、書道文化の普及に努めています。また、書に関する図書を多数収蔵し、自由に閲覧して頂けるようになっています。



安城市歴史博物館 ANJO HISTORICAL MUSEUM

所在地 〒446 安城市安城町城堀30番地
電話 <0566> 77-6655
交 通 名鉄西尾線南安城駅より 徒歩10分
JR東海道本線安城駅より タクシー10分
JR新幹線三河安城駅より タクシー20分
駐車場170台分有（無料）
沿革 安城市は、「日本のデンマーク」とよばれる農業の先進地としての位置から、急速な工業化



への対応をしつつ発展してきた。その時代の流れとともに市民の間に文化活動への関心が高まり、その拠点施設の整備が求められた。そして、昭和58年4月、総合計画の中に郷土資料館や美術館等の整備の検討が盛り込まれ、昭和62年1月、歴史博物館の建設が決定し、平成3年2月9日、安祥城址公園の一角に開館一般公開した。

施 設 敷地7,590m²

鉄骨鉄筋コンクリート造 3階建

延面積4,851.69m²

1階 企画展示室(296m²)、文献資料室(71m²)、特別収蔵庫(120m²)、その他

2階 常設展示室(836m²)、講座室兼視聴覚室(105m²)、体験学習室(82m²)、大会議室(109m²)、その他

3階 収蔵庫(513m²)、その他

開 館 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日（休日にあたるときは翌日及び翌々日）、休日の翌日（日曜日にあたるときは翌々日）、年末年始（12月28日～1月4日）

入館料 大人200円、小人100円

団体（20名以上）の場合は、大人100円、小人50円

特 色 安城市歴史博物館は、安城市域を中心に、矢作川流域の西三河を包括する地域の原始・古代から現代に至る政治・経済・文化各分野にわたる歴史を楽しく学べる博物館です。

常設展示室では「大地に息づく人々のくらしと文化」を主題に、1. プロローグ：大地から歴史を読む 2. 山と海の幸に生きる（原始）3. 西からの風（古代）4. 東からの風（中世）5. 百姓の世界（近世）6. 村の文化 7. くらしのなかの祭りと芸能 8. 日本デンマークの時代（近代）9. 町から都市へ 10. エピローグ：ふるさと・安城 から構成

されています。

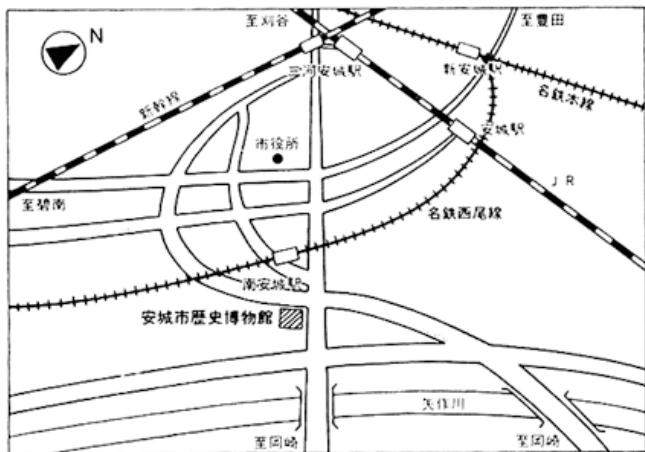
展示物の見どころは、市内亀塚遺跡から出土した顔に入れ墨のある「人面文土器」を中心に、全国から出土したもののうち、本市の人面文と共に描かれたもの（17例）のレプリカをつくり、順次展示しています。（全国で唯一）

また、安祥松平氏（4代親忠から7代清康まで）の本丸であり、徳川家康の先祖が住んだ安祥城に関わりのある資料を実例や写真・レプリカで紹介しています。

次に、日本のデンマーク農業を支えた4本柱、

1. 明治用水の開削による農地の増加、2. 稲作を中心とした養鶏、養豚、果樹、蔬菜作、養蚕などを組み合わせて高収入を得る多角形農業 3. 金融や農産物の共同販売や、肥料や飼料などの共同購入などをかるための産業組合の設立 4. 山崎延吉などのすぐれた農業指導者と、農業補修学校、県立安城農林学校などのすぐれた農業教育の普及を実例や写真グラフで紹介しています。

教育普及では、講座・講演会・学習会等を開催するなど、歴史・文化の分野での生涯教育活動を展開し、地域文化の向上に努めます。



師勝町歴史民俗資料館

所在地 〒481 西春日井郡師勝町大字熊之庄字御榊53

電話 (0568) 25-3600

交通 名鉄犬山線西春駅より徒歩20分

沿革 昭和53年に郷土歴史館が設立され、民具などの収集を行っていました。純農村地帯としての歴史が長かったゆえ、農耕具を中心収集されてきました。こうした資料と、発掘調査などで発見された資料を加えて広く公開する

ために、平成2年4月図書館と併設で設置されました。

施設 敷地 2,765m²

鉄筋コンクリート造、地下1階、地上3階建（3階部分が歴史民俗資料館）

延床面積 5,807m²

資料館部分 1,155m²

常設展示室 170m²

特別展示室 95m²

ロビー・ギャラリー展示 150m²

一般収蔵庫 223m²

特別収蔵庫 55m²

開館 9:00~17:00

ただし7月~9月の間は21:00まで開館

休館日 月曜日・祝祭日・第3日曜日・月末日

入館料 無料

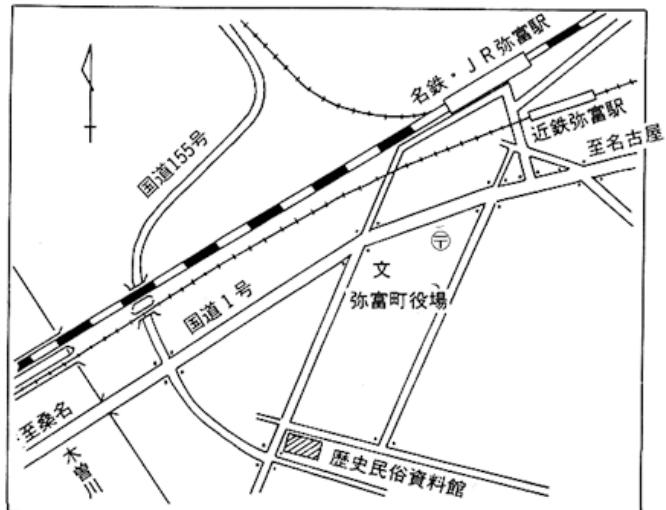
特色 合瀬川（旧名木津用水）の歴史や、石を運んでいた船を展示し、農村の生活に欠かせない水との関わりを紹介しています。また、純農村地帯としての長い歴史をもつ本町を知るために、昭和初期の農家を忠実に復元しています。考古資料としては、能田旭古墳から出土した形象埴輪をはじめ、縄文時代からの発掘資料を展示しています。さらに、企画展2回・特別展1回を開催しています。



弥富町歴史民俗資料館



所在地 〒498 海部郡弥富町前ヶ須新田字野方731
電話 (0567) 65-4355
交 通 近鉄・名鉄・JR弥富駅より徒歩15分
沿 鉄 弥富町は、古くから木曽川下流に開拓された水郷地帯である。近年の急速な都市化により失われつつある生活、文化、産業等の遺産を収集・保存し、将来へ伝えていくものとして平成3年5月開館となった。
施 設 敷地 1,456m²
鉄筋コンクリート2階建 延面積1021.32m²
展示室1(186.0m²)展示室2(205.2m²)ほか
開 館 9:00~16:30
休館日 毎週月曜日、祝祭日の翌日、年末年始
入館料 無料
特 色 1階展示室には、ボーリング試料をもとに再現した地下50mまでの地層断面や、高さ7mの吹き抜けの山車展示室を備える。2階にはかつて盛んに行われた海苔の養殖用いた漁具や金魚桶などの展示のほか、音と映像を中心とした「シアターやとみ」やA Vコーナーが子どもたちを楽しませている。



お知らせ

1. 表紙絵募集について

当協会では、協会報「愛知の博物館」(当紙)の表紙絵を募集しています。当協会加盟館(園)の内で、収蔵品や展示概況、館の外観など特徴あるものの掲載の希望がありましたらご応募下さい。応募方法は当紙No.53をご覧下さい。

2. お詫びと訂正

平成3年8月30日付けで配布しました、「平成3年度版 加盟館・園職員録」に間違いがありましたのでお詫びいたします。下記のとおり訂正をお願いいたします。

記

ページ	訂正場所	
12	熱田神宮宝物館	
	正: 大原和生	誤: 大原和夫
29	マスプロ電工美術館	
	正: 〒470-01	誤: 〒470-11
30	岩崎城歴史記念館	
	正: 〒470-01	誤: 〒470-11

「愛知の博物館」No.54

発行日 平成3年9月25日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒489 愛知県瀬戸市南山口町234番地

愛知県陶磁資料館内

TEL <0561> 84-7474

FAX <0561> 84-4932